

大雪被害支援策、震災復興をたどす

県連会長であります藤原崇衆議院議員は、一月二十五日の衆議院予算委員会で、今冬の大雪被害に対する政府の支援策、まもなく十年を迎える東日本大震災からの復旧・復興等に関して質疑に立ちました。

雪害に関して藤原会長は「国としてしっかりと対応が必要であり、自治体への除雪費の支援や、被災された営農者の方の再建意欲を失わないように国として早急な対応を求めました。菅総理大臣は、「農家をはじめ被災された皆さんが、この大雪の被害を乗り越え、経営をできるように、被害状況の把握と併せ、被災施設の再建など必要な支援策を速やかに検討する。また、地方公共団体が財源不足を心配することなく道路除雪を実施できるように支援をしていく。いずれにせよ、この件については政府が責任を持って対応していく」と力強く答弁されました。大雪災害に関しては前回の県連だよりでも報告した通り、県連として現地調査、知事要望を実施いたしました。財源の問題を考えますと国に期待する部分はやはり大きいのが現実としてあります。課題解決のため現場の声をしっかりと届けるために連携を強化し取り組みでまいります。



↑上記QRコードより質問の動画をみる事ができます。説明・質疑者等から藤原崇をクリック！

2月25日（木）代表質問
岩崎友一議員
二人目 13：55くらいから

2月26日（金）
工藤勝子議員
二人目 14：15くらいから

3月1日（月）
神崎浩之議員
一人目 13：00から
臼澤勉議員
3人目 15：15くらいから

予算特別委員会総括質疑
3月8日（月）
佐々木茂光議員

2月25日の代表質問はテレビ岩手にて14：50あたりから放送予定です。インターネットでの視聴は岩手県議会中継で検索いただくか、左記QRコードから。ご視聴よろしくお願いいたします。



2月県議会登壇者のお知らせ

した。特にもリモート開催と、対面開催を併用するハイブリット型の実施は移動時間が長くなり、広い岩手県には有効な手段だと感じました。岩手県連でも昨年からスタートしたいわて政治塾の更なる充実に向けて、塾生がより満足できるカリキュラムとなり、共感を広げるために、他県の取り組みも参考にしつつ、党本部の動きとも連動し、学びをとめず加速するようにしっかりと取り組んでまいります。



二月十九日、自民党本部が取り組んでいる中央政治大学院、各都道府県連が取り組んでいる地方政治学校の全国会議がオンラインで開催されました。中谷元学院長の挨拶のあと、二階俊博幹事長の挨拶、中央政治大学院の活動報告、各県連の取り組み事例の発表がありました。

中央政治大学院・地方政治学校全国会議